

会 議 録

会議名 (付属機関等名)	川西市参画と協働のまちづくり推進会議 令和元年度第 6 回 B 部会		
事務局 (担当課)	総合政策部 参画協働課		
開催日時	令和2年 2 月 18 日(火) 午後 6 時 45 分から午後 8 時 30 分		
開催場所	川西市役所 7 階 大会議室		
出席者	委員	田中晃代、横谷弘務、延命寺陽子、金剛丸朋子、相良雅江、田中真優、中村佳子、堀田大樹、山澤剛、吉尾豊	
	その他	参画と協働のまちづくり研修生	
	事務局	参画協働課長、同課長補佐、同課主任 2 名	
傍聴の可否	可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	<p>1 開 会</p> <p>2 議 事</p> <p style="padding-left: 20px;">B 部会のテーマ</p> <p style="padding-left: 20px;">「(地域・市民活動に対して、)やる気や興味・関心が薄い方を巻き込んでいくには」</p> <p>3 閉 会</p>		

18:45～

1 開 会

- 事務局から、本部会に、市職員研修の一環として、12名参加することを報告。その後、委員、研修生の自己紹介を行った。

2 議 事

B 部会のテーマ

「(地域・市民活動に対して、)やる気や興味・関心が薄い方を巻き込んでいくには」

- 田中部会長から、本部会の経過報告
- 堀田委員より、「川西源氏かるた(仮)」の提案。その後、尼崎市役所から借用した「アマガサキ・トゥ・ザ・フューチャーⅡ」を、委員・研修生交えて体験。
- 部会の意見交換
 - ・ あえて、未完成な内容にすることで、参加者のアイデアを取り入れながら、ブラッシュアップしていくのはどうか。
 - ・ 自治会活動で、アメとムチ(来たら何かもらえる、楽しいことなど)を使い分けることで、参加者を増やしている例もある。しかし、それをきっかけに参加し、楽しいことで続けていくことで、だんだんと活動者にとって負担になってくる。違うアメが必要なのか。どこの声に焦点をあてるかで、お困りごとの設定も異なってくると思う。
 - ・ まずは、尼崎市の「アマガサキ・トゥ・ザ・フューチャーⅡ」をベースに、リソースやゲーム方法などを考えるべき。オリジナリティは、試行錯誤していく中でつけばよい。最終的には、「川西版」のカードを作成する。
 - ・ 内容も難しいものではなく、市民レベルに落とし込みを。また、若い世代、特に中学生の発想は、ハッとするものがある。
 - ・ リソースに民間企業を入れてはどうか。カードとして取り上げるかわりに、一定の金銭負担や支援などを求める。
 - ・ カードゲームのルール説明や普及させる人の育成はどうするか、

→ プレイ方法などを YouTube で公開してはどうか。

- ・ 地域性に限定せず、オール川西の視点で、リソースをつくるべき。大人でも知らないことはたくさんあり、ゲームを通じて理科を深めることも大切。
- ・ カードゲームを通して、活動への敷居を下げることができる。
- ・ ヒント集から得たものをカードに生かし、カードから得たものをヒント集に生かすなど、相互のブラッシュアップ・アップデートが期待できる。
- ・ はじめ、カードは名刺台紙などに印刷して使用してはどうか。
- ・ 研修生からは、①カードで興味関心を持った人をどのように次のステップ(参加)につなげていくか、②ゲームで出た意見・アイデアをどのように生かしていくのか。また、他のゲームで出た意見を可視化し、共有するため、アプリがあっても面白い。③この部会はそもそも、「やる気や興味・関心が薄い方」を巻き込んでいくことを目的としているが、カードを通してどのように広げていくのか。こども向けイベント×ゲームや、日頃の手持ち時間で取り組める内容も必要では。

(決定事項)

- ・ 3月の全体会については、試行かると、かるとのリソース内容や説明文をいくつか提示する。
- ・ ヒント集は、部会長と委員1名を中心に内容を詰めていく。

3 閉会